

## 2 学期終業式講話

おはようございます。9月、正確に言えば8月末から4か月余りがたち、今日終業式を迎えます。集中研修にはじまり、南稜祭体育の部を行い、海外こそ行けませんでしたでしたが国内探究研修を、そして一昨日は球技大会実施とコロナ禍の中でも無事学校行事ができたことに喜びを感じます。皆さんにとってこの2学期はいかがだったでしょうか。少々振り返ってみましょう。

本校の教育目標に「自立する若者」とありますが、そのために3点のことを4月当初に申し上げました。一つは授業を集中して聞くこと、二つ目は人を大事にすること、三つめはたくさん失敗すること。これら3つのことはいかがだったでしょうか。

私は毎日時間が許す限り校内を回っています。皆さんがどんなふうに授業を受けているか学んでいるかを確認するためです。2学期は1学期に比べて集中力が落ちたように思えます。私が歩いているときよろきよろと見る人が増えました。別に注目する必要はないかと思えます。

次に人を大切にできたでしょうか。SNSを通じて他人を標榜したり、貶めたりしたことがありました。けっして許される行為ではないです。そして3つ目の失敗については、部活動の試合等で躊躇するプレーはなかったでしょうか。失敗をしてはいけないという思いが強すぎて、思ったようなプレーができなかった人もあったように思えます。探究は失敗の積み重ねですから、もっともっと失敗をしないと前へ進めないです。失敗大いに結構なことです。

今日はその3つの中で人を大切にするという点について、話をしたいと思えます。

これは何よりも自分自身の体験から出てきたことです。私は高校3年生の時に東北の仙台にある大学を希望し勉強しました。しかし思うような点がとれず不合格となり、翌年もう1回挑戦しようと浪人生活に入りました。東京に下宿して予備校に通い勉強しました。ちょうど寮生活をしている方に近い生活を送りました。そして挑戦しましたが、またしても駄目でした。第2希望の大学も落ちて、すべり止めの大学2つ、東京と京都の大学に合格したのみでした。大学では文学部の歴史学科を選んでいましたので、どちらかにするか迷いましたが、歴史をやるなら京都がいいんじゃないかと背中を押されて京都の大学を選びました。

しかしながらすべり止めということで、気持ちはどこか晴れませんでした。3月の終わりに下宿を探すときも母親は「京都御所が見える、金閣寺が見える」などとはしゃいでいましたが、自分は鬱々とした気持でした。

この気持を入学後も引きずっていたので、「ここは自分が来るべき大学じゃなかった」とか勝手に思い、なかなか友人もできませんでした。「自分、なに気取っとるんか？」とある友人に言われました。関西でしたので、「まあ何を格好つけてんだよー」みたいなニュアンスだったように感じました。まさにその頃の自分の心境を見事に言い当てた言葉で、自分

も友達に対して斜に構えていたような気がします。

ゴールデンウィークに実家に帰って、大学を辞めたい話を親にしました。なんで京都なんかにしたんだろうって。再び京都に戻りましたが、鬱々とした気持は晴れませんでした。6月がたち7月になった頃にクラスコンパがあって、その時に隣の席の人間が、「俺はA大学落ちてここに来たんだ」と言いました。そうしたらその隣の人間が、「俺もB大学落ちて来たぜ」と言いました。それを聞いて何か嬉しくなりました。皆な脛に傷を持ってたんだと。逆にそんな思いをして入学しても、学園祭でクラスに協力したり、皆で楽しく話したり、彼らは皆努力していたんだ、それに比べて自分はいったい何をやってたんだと猛烈に自分が嫌になりました。3か月間の自分に決別しなくてはいけない、そして友達をもっと大切にしていこうと思いました。そこからは毎日が楽しくなりました。そして4年間の大学生活を終えた時に、本当に仲間たちと別れるのがつらくてつらくて、こんな思いはこれまでしたことなかったです。

1、2年生で富士市立高校に来て、来るんじゃないかなあと思った人は、この時の私と同じ心境かと思います。でも周りの人間は自分が思っているほどには見ていないです。周りで、仮にもしこういう思いで孤独な仲間がいたら声を掛けてほしいと思います。

3年生で既に進路が確定している者、自分だけの力で合格したと思っていますか。周りの教員の支えがあつてのものであることを気づいていますか。ましてや、まだ進路が確定していない者への気遣いができていますか。一番いいことは、今いる富士市立高校の仲間を大切にしてほしいのです。進路が決まっている方には、4月からの新しい世界に飛び込んだ時に、私と同じような思いをさせたくないです。自分スピーチであれだけ見事な話を披露することができた3年生です、大いにプライドを持っていただきたい。そしてそのプライドで仲間を支えてほしいと思います。

この冬休みは2学期の振り返りをしながら、新たな年への抱負を考えて過ごしてほしいと思います。よいお年をお迎えください。以上で校長講話としたいと思います。

(令和4年12月22日、終業式)